

【普通科】 2年次 【選択】 科目「時事英語」授業のシラバス

1 概要

教科名	外国語	科目名	時事英語	単位数	2単位（78）
科目の目標	英文ニュースを読んだり聞いたりして、国際ニュース・国内の時事問題に対する関心や理解を通じて英文読解力を高め、グローバル化時代に通用する人材としての素養作りに役立てる。また、それらに対する自分の意見や考えを英語で発信する力を身に付ける。				
教科書 (出版社)	授業を進めていく中で選定していきます。		副教材 (出版社)	授業を進めていく中で選定していきます。	

2 学習の方法

(1) 予習について

テキストの内容を元にして授業を進めていきます。事前に単元の文章を読み、単語や文法事項など事前に取り組んでください。内容は多少発展的なものを扱いますので、必ず予習をしてから授業に臨むようにしてください。

(2) 授業について

時事英語の授業では、国際ニュース・国内の時事問題に対する関心や理解を通じて英文読解力を高めることを目標とします。また、それらに対する自分の意見や考えを、英語で書いたり話したりすることで、発信する力を身に付けます。

(3) 復習について

どの科目についても言えることではありますが、毎回の授業で学習した内容をその日の内に振り返ってください。それでもわからない場合はそのままにせず、教科担任（あるいは外国語科の先生方）に積極的に質問をし、必ず次のステップへ進むための準備を怠らないようにしてください。

〈学習アドバイス〉

英語は「実技教科」です。赤ちゃんが言葉を覚えることができるのは、その言葉を日常的に聞いて音を覚え、わからないなりに声に出して自分の意思を伝えようとするのを繰り返すからです。英語の学習方法には様々なものがありますが、コミュニケーション英語Ⅰでは、「インプットしたもの（学習した知識）を必ずアウトプットする（声や文字にして相手に伝える）」ことに重点をおいて、授業を進行させます。ですから、授業内で中心となる「書く」活動や「話す」活動に積極的に取り組むことで、みなさんの英語力は必ず向上します。間違ふことや恥ずかしいと思う気持ちを捨てて、仲間や先生方と楽しく英語を学習しましょう。

加えて、英語はもはや暗記教科ではありません。英単語には「イメージ」があります。スベルと意味を丸暗記するというよりは、イメージから意味を想像できるようになると、後に応用力が育まれ、幅広いレベルの英語に対応できる力を身に付けることができます。まずは、あなた自身の英語の学習方法から見直してみてもいいかもしれません。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。
② 外国語表現の能力	話したり書いたりして、情報や考えを適切に伝えることができる。
③ 外国語理解の能力	聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解することができる。
④ 言語や文化についての知識・理解	言語やその運用についての知識を身に付け、背景にある文化を理解することができる。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料		定期考査・確認テスト 実力テスト		Attitude	Lesson Quiz	Individual Work	Pair/Group Work
観 点	割合						
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	25%	×	定期考査ではなく、授業内での取組、スピーキングテストやプレゼンテーションで評価をします。	○		○	○
② 外国語表現	25%	○	自分の意見や考えを、「話すこと」と「書くこと」を通して、相手に的確に伝えることができる。		○	○	○
③ 外国語理解	25%	○	「聞くこと」と「読むこと」を通じて、相手の考えや意思を、適切に理解することができる。		○	○	○
④ 言語や文化についての知識・理解	25%	○	英語が持つ言語的性質を理解し、英作文や英会話の際に適切に運用することができる。		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

- ・授業中、学習と関係のない私語は厳禁です。
- ・定期考査は、授業で学習した内容から幅広く出題します。
- ・ライティングやスピーキングテスト、プレゼンテーションの評価の方法や基準については、授業の中で事前に周知をします。
- ・レポートや英作文等の課題が出された際には、提出期限をしっかりと守ってください。
- ・授業で使用する教材を忘れてきた者は、授業が始まる前に教科担任に申し出てください。

【普通科】 2年次 【選択】 科目「時事英語」授業のシラバス

4 授業計画（H30 年度例）

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	Lesson 1 AI give 'objective' advice for daily decisions	4	● 人工知能サービスの具体的な事例について学びます。	全てのレッスンで①～④を総合して評価します。	<各単元における評価の観点> ① 演習・ペアワーク・グループワークを積極的な姿勢で行うことができる。 ② 授業内での「話す」活動や「書く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、自分の意見や考えを適切に表現することができる。 ③ 授業内での「聞く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、相手の考えや情報を的確に理解できる。 ④ 授業内で学習した文法や表現を通して、英語という言葉の特性を理解できる。	前期中間考査
5	Lesson 2 Finland to pay unemployed basic monthly income of \$587	4	● フィンランドで試験的に導入されている失業者への基礎所得支給の制度を学びます。			
6	Lesson 3 Chef helping spread washoku school lunches	5	● 学校給食に和食を増やす取り組みについて学びます。			
7	Lesson 4 Oxfam: 8 men as rich as half the world	5	● 「8人の富が、世界の半数に匹敵する」という記事を読み、世界の貧富の差について学びます。			
8	Lesson 5 Shrine in Tokyo accepts e-money offerings	5	● 神社で電子マネーによる賽銭を受け入れるようになった背景について学びます。			
9	Lesson 6 Reading glasses may become a past thing	5	● 老眼鏡や遠近両用メガネなどに限られていた選択肢を広げてくれるうれしいニュースについて学びます。			
10	Lesson 7 Japan to help farmers obtain food safety certificates for 2020	5	● 東京五輪で日本の食文化をアピールするための政府の取組について学びます。			
11	Lesson 8 Study: baby brain scans may reveal autism risk	5	● 自閉症は、早い診断ができる可能性が出てきました。研究の概要について学びます。			後期中間考査
後期 10	Lesson 9 Tax-sharing services app to be tested	5	● タクシー事業を所管する国土交通省が導入を検討している相乗りサービスのシステムについて学んでいきます。			
11	Lesson 10 Home town flavors big business in Tokyo	5	● 各都道府県のアンテナショップが観光客を集めている秘密は何なのか、			
12	Lesson 11 7 Earth-size planets found	5	● 米国航空宇宙局（NASA）について学びます			
1	Lesson 12 Ancient human ancestor stood tall	5	● 古代の人類の祖先が、背筋を伸ばして立っていたかもしれないという発見について学びます。			
2	Lesson 13 Robots gaining more sophisticated 'emotions'	5	● ロボットが「感情」を生み出す仕組みについて学びます。			
3	Lesson 14 Penguin ancestor may have met T.rex	5	● ペンギンはいつから地上に存在するのか、について学びます。			後期期末考査
	Lesson 15 Anime boom in China heats up, unaffected by chilly ties	5	● 現在の中国におけるアニメ人口はどのくらいなのか、また、今後どのくらいの規模に成長していくのかを学びます。			
	Lesson 16 How to better utilize limited human resources	5	● ロボットが働くホテルを参考に、限られた人的資源の活用の問題について学びます。			

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は表現する能力、③は理解する能力、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。